

にしめ物産(株)の運営状況をお知らせします。

【主な指定管理施設:道の駅にしめ】

(単位:円)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度
年間利用者数(人)	(A)	265,860	270,810	171,300
従業員数(人)	(B)	12	11	11
年間売上高	(C)	95,659,775	102,385,781	83,888,339
売上総利益	(D)	23,592,024	26,721,913	18,074,519
販売費一般管理費	(E)	34,144,256	36,616,164	31,579,963
営業利益	(F)	▲ 10,552,232	▲ 9,894,251	▲ 13,505,444
市からの補助金額	(G)	0	0	2,079,723
市からの指定管理料	(H)	3,009,000	3,064,722	3,064,722
純利益(純損失)	(I)	177,107	501,587	2,975,270
資産額	(J)	60,281,106	59,203,890	62,455,463
負債額	(K)	9,384,319	7,805,516	8,081,819
純資産額	(L)	50,896,787	51,398,374	54,373,644
資本金	(M)	30,000,000	30,000,000	30,000,000

		平成30年度	令和元年度	令和2年度
利用者1人当たり売上	C/A	360	378	490
従業員1人当たり売上	C/B	7,971,648	9,307,798	7,626,213
利用者1人当たり営業利益	F/A	▲ 40	▲ 37	▲ 79
従業員1人当たり営業利益	F/B	▲ 879,353	▲ 899,477	▲ 1,227,768
利用者1人当たり補助金	G/A	0	0	12
利用者1人当たり指定管理料	H/A	11	11	18
利用者1人当たり負債額	K/A	35	29	47
粗利率	D/C	24.7%	26.1%	21.5%
販管費率	E/C	35.7%	35.8%	37.6%
自己資本比率	L/J	84.4%	86.8%	87.1%
負債比率	K/L	18.4%	15.2%	14.9%
資本剰余額(欠損額)	L-M	20,896,787	21,398,374	24,373,644

【用語解説】

粗利率(売上総利益÷売上高)	売上高から原価を差し引いた粗利益を比率にしたものを示した指標。売上高に対する売上総利益の比率を表す。企業の大まかな利益率を把握するための、基本的な指標。
販管費率(販売管理費÷売上高)	売上高に対する販管費(販売費、一般管理費)の比率を示す指標。売上に対して過剰に経費がかかっているかなどを確認する際に使用する。この比率が低いほど効率的な経営を行っているといえる。
自己資本比率(自己資本÷総資産)	総資本に対する自己資本の比率を表す指標。自己資本は、株主からの出資や会社の利益からなるもので、自己資本比率が高ければそれだけ借入金が多く、健全な経営を行っているといえる。一般的に50%以上が望ましい。
負債比率(負債÷自己資本)	自己資本に対して負債がどの程度あるかを表す指標。財務的な安全性を測る指標として用いられており、一般的には負債比率が低いほど財務的な安全性が高い。負債比率が100%以下であれば自己資本で全ての負債を返済できるので問題はない。
資本剰余額(欠損額)	純資産額(資本総額から負債総額を引いた額)から資本金額を差し引いた額。